



根岸だより

令和2年1月8日
第32-45号
台東区立根岸小学校
校長 小西 祐一
TEL03-3876-2411~2

忠恕（ちゅうじょ）の道

校長 小西 祐一

明けましておめでとうございます。令和の時代になって初めてのお正月を迎え、2020年がスタートしました。今年は、いよいよオリンピック・パラリンピック東京大会が開催されます。新しい国立競技場が完成し、いよいよ間近に迫ってきました。今から56年前、1964年（昭和39年）に開催された前回の大会は、戦後復興を象徴するものであり、同時に我が国の経済が世界レベルへと発展していく大きな節目でもありました。今年はねずみどしです。ねずみどしは十二支の最初でもあることから物事が動き出す始まりの時とされています。また、ねずみは子孫繁栄の象徴とされ、ねずみどしは繁栄をもたらすとされています。そのようなねずみどしに行われる今回のオリンピック・パラリンピック東京大会が、日本、あるいは世界にとって、平和と繁栄への大きなステップとなることを切に願います。

ところで、干支にちなみ、ねずみどしにはどのような人物がいるのかを調べてみましたところ、渋沢栄一もその一人であることが分かりました。渋沢栄一は埼玉県深谷市出身で、日本の近代経済社会の基礎を築き、実業界のみならず社会公共事業にも多くの業績を残した人物です。2024年に紙幣の肖像画が替わり、新しい一万円札の肖像として、渋沢栄一が選ばれたことは広く知られているところです。

渋沢栄一は、生涯を貫いて「忠恕」を大切にしていたと言われています。「忠恕」とは、論語の中にある言葉で、「真心と思いやりがあること」を表しています。そして、忠恕の道を歩むには、「至誠」と「博愛」の両者が必要であると渋沢栄一は語っています。

私はこの話を聞いた時、2学期に総合的な学習の時間で「未来予想図2019」に取り組んだ6年生の姿を思い出しました。前回の学校だよりでご紹介いたしましたように、6年生では、将来、自分がなりたいと思う職業について、なぜその職業に憧れたのか、その職業に就くためにはどのような力を身に付けることが必要か、その職業に就いたらどんなことをしたいかなどを考えたり調べたりしてきました。そして、その学習の最後にもう一度、「その職業に就いて果たしたい願い（志）は何か」について、自分自身に問いかける時間を設けたところ、「助けたい」「支えたい」「貢献したい」「極めたい」「創造したい」「元気にしたい」「勇気づけたい」など、誠実で思いやりに満ちた願いがたくさんの子供の内側からあふれてきました。これらはまさに忠恕の道につながるものだと思います。変化の激しい時代の中でたとえ困難な状況に陥ったとしても、心に灯った願い（志）が、きっと一人一人を導いてくれるでしょう。そして、新しい時代・社会を創造していくときに最も大切にしなければならないものとして、「忠恕」を忘れてはならないことを渋沢栄一は教えてくれています。

本校では、今年も「台東区学校教育ビジョン」に掲げられている「こころざし教育の推進」を受け、グローバルな社会で活躍する人間の育成を目指して教育活動の充実を図ってまいります。保護者や地域の皆様、関係の皆様におかれましては、本年も本校の教育にご理解とご支援を賜りますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

書き初め展のお知らせ

本年は、下記の日程で書き初め展を開催いたします。児童が書いた毛筆や硬筆による作品を展示いたしますので、ぜひご来校いただきますよう、ご案内いたします。

日 時	1月15日(水)～17日(金) 児童下校後～16:30 1月18日(土)【土曜学校公開】 10:30～12:30
場 所	各学年のオープンスペース、教室



1月の行事予定

月	火	水	木	金	土
1/6	7 冬季休業日終	8 始業式 一斉下校	9 給食始 安全指導 身体測定56年 委員会活動	10 席書き会34年 席書き会56年	11
13 成人の日	14 放送朝礼 身体測定12年	15 書き初め展始 身体測定34年	16 5時間授業 1年1組は研究授業 のため6時間授業 避難訓練 美しい日本語の 話し方教室5年	17	18 土曜学校公開日 茶道体験1年 書き初め展終
20 放送朝礼 クラブ活動 クラブ見学3年	21 朝の読み聞かせ (1～4年) 国際子ども図書 館見学1年	22 助産師の授業 5年 学校保健委員会	23 アルミ缶・紙パ ック回収 民話と伝承遊び 2年	24	25
27 放送朝礼 4年2組は研究授業 のため6時間授業	28 朝の読み聞かせ (1～3年)	29 3年生以上 6時間授業	30	31	2/1

